

指定管理者実績評価シート

1. 基本情報

| | | | |
|-------|---|--|--|
| 施設名 | 柏市国際交流センター | | |
| 設置目的 | 国際化を推進する拠点として市民の国際理解を深め、市民主体の国際交流活動を推進するとともに、本市の国際化の進展に寄与すること | | |
| 指定管理者 | 名称 | 特定非営利活動法人柏市国際交流協会 | |
| | 所在地 | 柏市柏一丁目7番1-301 Day Oneタワー3階柏市文化・交流複合施設内 | |
| | その他 | ※指定管理者が共同企業体の場合、構成団体名を記入 | |
| 指定期間 | 令和3年4月1日～令和8年3月31日(4年目) | | |
| 施設所管課 | 企画部 | 共生・交流推進センター | |

2. 評価 ※ 指定管理者からの各種報告書や実地調査等の結果を踏まえた評価を「評価基準」に基づき記入。

※ 施設の特性に沿って、市が指定管理者に何を求めるのか、それを評価するために適切な評価項目を必要に応じて追加。

※ 評価に対するコメント欄は、市が指定管理者に求める運営内容に対し、どのような結果であったかという視点から、全ての評価に対してコメントを記入。

| 項目 | 内容 | 評価 | 評価に対するコメント |
|-----------|-----------|----|---|
| 施設管理・運営 | 維持管理 | B | 施設や設備の適切な管理については、仕様書に基づき行われており、整理整頓された施設になっている。 |
| | 安全管理・危機管理 | B | パレット柏が実施する防災訓練に参加し、安全確認、避難経路の誘導確認を行った。 |
| | 職員体制 | B | センターの維持管理及び事業の安定的な運営のため、適正な配置を行っている。 |
| | 職員の育成 | B | 職員の接遇マナーの向上に努め、適切に行われている。 |
| | 運営体制 | B | 緊急連絡網が整備されており、指定管理者をはじめ、市や施設管理者との連絡体制が構築されている。 |
| | 自主モニタリング | B | TVモニターを設置して活動PRを行ったほか、共有スペースの整理整頓を定期的に行つた。 |
| サービスの質の向上 | 施設の利用実績 | B | センター前交流スペース及び情報コーナーを訪れた人数は横ばいだったが、講座・イベント参加者は増加。全体で前年度比約107%。 |
| | 実施事業の質の向上 | B | 日本語教室や国際理解講座などにオンライン(ZOOM)を取り入れ、施設利用との利便性を向上させた。 |
| | 利用者への対応 | B | 平等な利用が確保され、適切な対応がとられていた。 |
| | 利用者満足度 | B | イベント終了後にセンターの情報発信方法などについてアンケートをとった結果、良い・非常に良いが半数以上を占めた。 |
| | 情報の発信 | B | 国際交流センターのホームページを適宜更新し、施設やイベントの周知を積極的に実施している。 |
| | 地域等との連携 | B | 日本語教室ボランティアと連携し、教室を円滑に運営している。 |
| 効率的な管理 | 収支決算状況 | B | 適切な管理が行われている。 |
| | 利用料金の徴収 | | |

| | | | | | |
|----------------|------|--|---|---|--|
| その他 | 雇用関係 | 障害者や高齢者等の雇用は仕様書や事業計画書に記載されたとおりとなっているか。 | C | 障がい者の雇用はないが高齢者の雇用は図られている。 | |
| | | 市内在住者の雇用確保が図られているか。 | B | 市内在住者の雇用は図られている。 | |
| | | 雇用保険や労災保険には加入しているか。 | B | 必要な各種保険に加入している。 | |
| | | 最低賃金は確保されているか。 | B | 適切な賃金体系を確保している。 | |
| 市内産業の振興 | | 市内産業の振興への配慮はされているか。 | B | 国際交流フェスタなどの開催にあたり、市内の商業施設等との協力や連携は図られている。 | |
| 環境保護 | | 環境基本計画、地球温暖化対策の実現に取組んでいるか。 | B | 仕様書等に基づき、ごみの削減や分別等に取り組んでいる。 | |
| 法令遵守 | | 法令等は遵守されているか。 | B | 仕様書等に基づき、法令等を遵守している。 | |
| 個人情報保護 情報公開 | | 個人情報は適正に管理されているか。 情報公開請求への対応は適切か。 | B | 個人情報の保護に関する法律に則り、規程を定めて個人情報の保護及び管理に務めている。 | |

【個別評価項目の点数換算】

| | | | |
|------------|------------|-------------|-------------|
| A(優良) : 8点 | B(適正) : 5点 | C(課題有) : 2点 | D(要改善) : 0点 |
|------------|------------|-------------|-------------|

| | | |
|------|--|------------|
| 総合評価 | B(適正) (合計点 : 102 点) (得点率 : 75 %) (満点 : 135 点) | ※小数点以下、切捨て |
| 総評 | ・日本語教室のオンライン講座の需要が高く、受講者数は年々増加している。 ・イベント及び講座の参加者からは、満足度の高い回答を得ている。 ・非常に少ない人数で事務局を担っていることから、障害者雇用については課題が残る。 | |

【総合評価の算出方法】

| | | |
|---|-----|--|
| A | 優良 | 該当する各評価項目の最大値（満点）に対する評価の合計値の割合が85%以上かつすべての項目においてB評価以上 |
| B | 適正 | 該当する各評価項目の最大値（満点）に対する評価の合計値の割合が75%以上かつD評価がなく、C評価が1項目以下 |
| C | 課題有 | 該当する各評価項目の最大値（満点）に対する評価の合計値の割合が40%以上かつD評価が1項目以下 |
| D | 要改善 | 該当する各評価項目の最大値（満点）に対する評価の合計値の割合が40%未満またはD評価が2項目以上 |

3. 課題解決の結果

※ 事業年度とその前年度に生じた課題への対応結果を、いつ頃どのように改善したか等を記入

【事業年度とその前年度からの課題】

- ・在住外国人支援の充実を図る。
- ・多文化共生の理解促進のための事業を検討し、参加者の安全安心を図りながら、実施する。

【課題への対応結果】

- ・オンラインを活用した日本語教室の充実により、年間837回もの講座（受講者：延べ4,627名）を実施することができた。
- ・多文化理解に関する様々なイベントを実施し、市の国際化に寄与した。

4. 次年度の管理運営に向けた課題

※ 次年度の管理運営に向けての課題や指定管理者に取組んでほしいこと等を記入

- ・事業やイベントの周知方法がワンパターン化しており、参加者も同様となっている部分があるため、多様な周知方法を活用し、不特定多数の市民の目に止まるような広報活動が必要。
- ・増加が続く在住外国人に対する充実した支援が引き続き必要。

5. 労働条件審査の結果

※ 審査結果の総評を記入

概ね適正に管理されていた。

[REDACTED]